

令和7年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学 校 名	校 長 名
102	川崎市立 千代ヶ丘 小学校	柴田 雅之

学 校 教 育 目 標	学 校 経 営 の 目 標	今 年 度 の 重 点 目 標
◎深く考える子 ◎思いやりのある子 ◎たくましい子 【千代っ子みんなの目標】 大好き千代ヶ丘 自分から〇〇のために やってみよう！ 〈めざす学校像〉 ・学びの中で自らの成長を実感できる学校 ・人とかかわりの中で心を育む学校 ・心身の成長とともに健康・安全を大切にする学校 ・地域・保護者とのつながりで子どもを育てる学校	○確かな学力の育成 ・自ら学び、自ら考える子 ・学び合い、高め合う子 ○豊かな心の育成 ・相手の気持ちを考える子 ・お互いのよさを認め合う子 ○健やかな心身の育成 ・心も体も大切にする子 ・安心・安全に生活する子 ○地域に開かれた魅力ある学校づくり ・地域とともに育つ子	◇「主体的・対話的で深い学び」の実践 ◇カリキュラム・マネジメントの推進 ◇個別最適な学びと協働的な学びの実現 ◇合理的配慮・特別支援教育の充実 ◇校内・校外における研修の充実 ◇GIGAスクール構想の推進 ◆温かい関係づくりによる自己肯定感の向上 ◆キャリア在り方生き方教育の効果的な実践 ◆いじめ防止対策の推進 ◆行事・特別活動の充実 ◆道徳教育の効果的な実践 ◆人権尊重教育の効果的な実践 ◆共生＊共育の効果的な実践 ◆音楽活動・読書活動の充実 ◇支援教育コーディネーターを中心とした児童支援の充実 ◇様々な感染症への対応 ◇熱中症対策の徹底 ◇日常的な健康・安全教育の推進 ◇体づくり・体力向上につながる取組の充実 ◇チャレンジ精神と粘り強さを育む取組の充実 ◇危機管理体制の整備 ◆地域・保護者との連携・情報交換 ◆地域の人材・環境を生かした活動の再開・継続 ◆地域・保護者への情報公開・情報発信 ◆地域社会における役割を自覚

評 価 項 目	具 体 的 な 取 組	成 果 と 課 題	具 体 的 な 改 善 策
1 ◎確かな学力の育成 ・自ら学び、自ら考える子 ・学び合い、高め合う子	◇「主体的・対話的で深い学び」の実践 ◇カリキュラム・マネジメントの推進 ◇個別最適な学びと協働的な学びの実現 ◇合理的配慮・特別支援教育の充実	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進してきました。「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」という3つの資質・能力をバランスよく育成することをめざしてきました。とくに、主体的に学習に取り組む姿や学び合う姿において一定の成果が見られました。教員の校内研究や研修を充実させることができました。さらに教師の授業力向上が求められます。 より効果的に教育活動を行うためにカリキュラムを工夫改善してきました。探求的な学習づくりを模索してきました。地域素材を生かすなど、より良く更新していく必要があります。一日の時程や授業時数を工夫し、職員の働き方も改善しつつ、効果的な教育活動を行っていきます。 個への対応に力を入れるときと協働的な学びを行うときなど、単元計画の中で、また、1時間1時間の中でどのように授業を進めていくのかを考え、効果的な授業設計を工夫してきました。教師の引き出しをさらに増やすことが求められます。 支援教育コーディネーターを中心に、一人一人の教育的ニーズに対応できるよう、困り感を見とり、対応していくよう努めました。取り出しや入り込みなどによる個別対応の充実も進めてきました。ユニバーサルデザインの環境づくりなども意識してきました。人的資源に左右されることが課題となっています。	本校児童の学習におけるよさと課題を把握し、学習指導要領の内容理解をもとに、学校全体として学び合い、高め合う体制をつくっていきます。教師の授業力向上から、児童の充実した学習につなげていきます。そのための校内研究や研修をさらに充実させていきます。 年間のカリキュラムを見通しをもって進めていくために、長期的・短期的計画を立て、学校・学年で共有し、充実した教育活動を行っていきます。 一人一人に応じた柔軟な指導を行っていくことと、GIGA端末の活用やグループ活動を通して協働的に学んでいくことを、授業の場面に応じて計画的・積極的にとり入れることができるようにしていきます。 校内における人材を有効に活用し、児童一人一人の困り感に対応するとともに、すべての児童にとって安心することができる環境づくりをめざしていきます。

		◇校内・校外における研修の充実	校内・校外における研究・研修の機会を大切にしてきました。学校として教職員同士の学び合いの雰囲気の高まりが感じられました。研究では、算数の指導において成果を感じています。また、定期的に、様々なテーマで「ちょこっと研修」を行ってきました。時間の有効活用が課題です。	職員の働き方改革についても念頭に置きつつ、研究や研修の時間の確保を図り、共に学び合い、高め合う体制づくりに取り組みます。時間を有効活用し、校内研究や、「ちょこっと研修」を学び合いの場としてさらに充実させていきます。
		◇GIGAスクール構想の推進	教員が積極的に端末を使って授業改善に取り組む姿が見られました。子どもたちも端末の活用慣れてきていることが感じられます。どのようなときに、どのように使うか見極めていく必要があります。	GIGAスクール構想をさらに進めるために、新たな活用の仕方を情報共有し、教員一人一人が授業に積極的に取り入れていきます。
2	○豊かな心の育成 ・相手の気持ちを考える子 ・お互いのよさを認め合う子	◆温かい関係づくりによる自己肯定感の向上 ◆キャリア在り方生き方教育の効果的な実践 ◆いじめ防止対策の推進 ◆行事・特別活動の充実 ◆道徳教育の効果的な実践 ◆人権尊重教育の効果的な実践 ◆共生＊共育の効果的な実践 ◆音楽活動・読書活動の充実	子ども同士による、温かい言葉のやり取りや、教員による価値づけなどにより、よいところを積極的に認めていく学校の雰囲気を大切にしてきました。それが自己肯定感の向上や他者意識を高めることにつながったと思います。異学年交流であるフレンドリー活動は、児童の準備時間を保証することで、児童・教師ともに負担が減り、活動が充実しました。 キャリア在り方生き方教育においては、かかわる力・自分を見つめる力を養うことを目標に、キャリア在り方生き方ノートやキャリアパスポートを活用しながら取り組んできました。地域学習やお祭りなどの地域行事への協力・参加によって、私たちのまち川崎(千代ヶ丘)という郷土を愛する気持ちを育むことができました。 定期的に生活アンケートをとったり、児童の言動をきめ細かく見たりしていくことで、いじめの未然防止に努めました。心配なことがあれば、教員間で情報共有し、学校全体で対応してきました。見落とすことがないように、さらに丁寧な対応をしていく必要があります。 行事や特別活動においては、児童の主体的な活動になるよう、その取組を教員が支えていきました。子どもたち中心で進めることができ、達成感・満足感を味わうことができました。校舎改修などにより日程的に厳しいところがありました。 「特別の教科 道徳」となり、考え議論する道徳に取り組んできました。道徳科で学んだことを日常生活の中の道徳教育に生かしてきました。授業公開で保護者とも道徳の学びを共有しました。さらに心を耕す学習展開を考えていきたいです。 いじめや差別を許さない心や多様性を認める心を育んできました。そして、一人一人を大切にすることを通して人権尊重の精神を養ってきました。「一人一人を大切にする週間」では、多様性の認め合い、国際理解をテーマにしました。命の安全教育も実施しました。 共生＊共育においては、年2回効果測定を行い、結果を見取り、クラス経営に役立ちました。 歌うことや演奏すること、本を読むことが好きな児童が多く、スクールバンドやスクールコーラス、読み聞かせなどの活動を充実させてきました。ぐるぐる先生による読み聞かせも子どもたちの楽しみになっていました。	これからも、学校全体であいさつや言葉遣いを大切にしていきます。よいところを認め合える雰囲気を学校全体に広めていきたいです。フレンドリー活動のように、改善することで活動の質を高めていきたいです。 これからも、学校だけでなく、地域や家庭と連携しながら「自分を作る」「みんな一緒に生きている」「わたしたちのまち川崎(千代ヶ丘)」の3つの視点でキャリア在り方生き方教育を進めていきたいです。教育課程の中で、どこでどう位置付けていくかを考え、効果的に進めていきたいです。 いじめにつながることに対しては、職員みんなで敏感に察知していくよう努めます。アンケートなどの情報収集や、気になることなどの情報共有に努めていきます。 クラブ活動や委員会活動、学校行事において、子どもの主体性を尊重し、その活動を支えていきます。一つ一つの活動が次の一歩につながるようにしていきたいです。準備の時間も見越して充実した活動になるようにしていきます。来年度も校舎改修があるので、考慮していきたいです。 学校教育全体における道徳教育を計画的に進めていきます。その核として「特別の教科 道徳」の学習の充実を図り、心の成長につなげていきたいです。そして、道徳の授業公開を通して、道徳での学びを保護者とも共有し、児童の心の成長につなげていきたいです。 違いを認め、お互いを尊重し合える学校・学年・学級づくりをしていきたいです。そのために、定期的に人権尊重教育を行っていきます。多様性を認め合える心の育成を図っていきます。自他の命を大切にすることを育み、問題があればすぐに対応していきたいです。 共生＊共育を通して、集団の人間関係や一人一人の気持ちを理解することに努め、学級経営に生かしていきたいです。 スクールバンドやスクールコーラスの活動を、職員の働き方の工夫の上で充実したものにしていきたいです。教室や図書室における読み聞かせの充実を通して読書が好きな児童を増やしていきたいです。

3	○健やかな心身の育成 ・心も体も大切にする子 ・安心・安全に生活する子	◇支援教育コーディネーターを中心とした児童支援の充実 ◇様々な感染症への対応 ◇熱中症対策の徹底 ◇日常的な健康・安全教育の推進 ◇体づくり・体力向上につながる取組の充実 ◇チャレンジ精神と粘り強さを育む取組の充実 ◇危機管理体制の整備	児童や保護者の悩みや不安の窓口として、支援教育コーディネーターの周知に努めました。そして、問題や課題に対して学校全体で対応することができました。スクールカウンセラーや外部機関とも連携してきました。 今年度は大規模な感染症の流行はありませんでした。しかし、1年間を通して季節に関係なく様々な感染症が見られたため、手洗い・換気などの予防に努めてきました。 水筒を持参するなど安心して水分補給ができるようにしました。熱中症指数計測器を利用し、活動前の判断基準とし、熱中症予防を行いました。 養護教諭を中心に児童の心身の健康を保つために日常的な指導を行ってきました。何かあった時の校内の連携体制も整えました。避難訓練は、計画的に様々な状況を想定して行ってきました。自分の命も周りの人の命も守るための行動を意識させてきました。 体育の学習やキラキラタイム、休み時間の外遊びの充実により、体力向上に努めました。学校栄養職員と連携した食育も効果的でした。 本校児童の傾向として、言われたことは真面目にすることができるのですが、自分から「やってみよう」という気持ちが弱いことが課題となっていました。その点については、昨年度より「千代っ子みんなの目標」を掲げたことにより、さまざまな機会にチャレンジし、頑張る姿が見られました。 校舎の老朽化が目立つため、施設・設備の点検・修繕に努めました。危機管理マニュアルに基づいて校内体制の確立に努めました。未然防止・早期発見・初期対応を確実に行ってきました。	支援教育コーディネーターの存在やその役割を児童や保護者にさらに周知していき、児童支援・特別支援の体制をしっかりと構築していきたいです。 今後も、感染症の流行は予想されるので、日常の手洗いや換気などの指導をしっかりと行い、その状況に応じて感染拡大を防ぐために臨機応変に対応していきます。 児童・職員ともに熱中症への意識を高め、熱中症指数計測器を利用し、明確な基準を示すとともに、児童の様子をしっかりと見とることで予防に努めていきます。水筒の持参も継続します。 児童の健康・安全を第一に考え、予防のための指導を日常的に行い、何かあった時の校内体制をさらに整えていきます。養護教諭による授業や避難訓練などを計画的に行っていきます。 児童の主体的な活動によって、体力向上に向けた運動に親しむ取組がより活性化するような工夫を積極的に行っていきます。校庭開放プロジェクトも子ども達の外遊びの機会となれればと思っています。学校栄養士と連携した食育も継続していきます。 行事や特別活動を中心に、日常生活や学習の中で自らの意思でチャレンジする気持ちを育てていきたいと思っています。そのために「やってみよう」と思った児童に対して、教員の丁寧な支援を心がけていきます。 児童の安全に関わることは、気が付いたことがあればすぐに対応していきます。危機管理マニュアルを見直し、未然防止・早期発見・初期対応を確実に行っていくことができる体制をさらに整えていきます。
4	○地域に開かれた魅力ある学校づくり	◆地域・保護者との連携・情報交換 ◆地域の人材・環境を生かした活動の再構築 ◆地域・保護者への情報公開・情報発信 ◆地域社会における役割を自覚	学校運営協議会、地域教育会議、千代小コミュスク会議において、直接地域の方とお話することによって、学校との関係づくりを行ってきました。ご理解・ご協力をいただき、感謝しています。 直接地域の人から学ぶ機会を大切にしてきました。また、保護者を中心に多くの方に学校教育ボランティアとしてご協力いただき、感謝しています。 学校だよりや学年だより、学校HPなどにより、情報公開を行ってきました。また、ミマモルメによる情報配信も行い、迅速に確実に連絡できる体制も作ってきました。 学校は地域の様々な活動の拠点になっていることを自覚し、地域教育会議、避難所運営会議、施設開放、地域自治会夏祭りなどの役割を担ってきました。	地域・保護者の方々のご協力に感謝し、今後も良好な関係を築いていくよう努めます。そのためにも、日ごろから挨拶をはじめ、感謝の気持ちを伝える機会を作るなど、積極的にコミュニケーションをとっていくようにします。地域行事などへの協力も可能な形で行っていきます。 実際に地域に出て、地域に暮らす人たちの声を直接聞くことはとても有意義な活動だと考えています。また、学校に来ていただき、児童とコミュニケーションをとる中で学習に協力していただくことも大切なことだと考えています。カリキュラムの中に地域とのかかわりを効果的に位置付けていきます。 今後も本校の教育活動をご理解いただくために、効果的な情報公開・情報発信の方法を検討していきたいです。紙媒体とネットの活用を考えていきます。 今後も地域の方々の学校に対する期待にこたえられるように、誠実に地域の方々と向き合っていきます。地域と共にそこに住む子ども達をしっかり育てていきたいと思っています。

学校関係者の評価	今年度の学校運営のまとめ
◆年に2回の千代小コミュスク会議(意見交換や授業参観、給食交流をしています)で頂いたご意見を載せます。 ・数年前よりも算数の学習が面白くなった。 ・先生たちの授業の工夫がすごい。子どもみんなから意見を吸い上げる授業がよい。 ・考えさせる授業がよい。 ・授業参観で教室の窓を外す配慮がありがたい。 ・休み時間の図書ボランティアの読み聞かせに多くの児童が集まっていたよい。 ・教室の掲示物に担任の温かなメッセージがあつてよい。 ・子どもたちが生き生きと学んでいた。 ・先生たちも楽しそうに丁寧に授業を進めているのがよい。 ・教材研究もよくしていてレベルが上がっている。 ・国際色が強くなった。 ・給食と一緒に食べて、とてもおいしかった。気さくに話しかけてくれた。教室の雰囲気がよかった。 ・書初めの字を見ると、学年が上がるごとに上手になり、成長が見られた。 ・PCを活用しつつ、頼りすぎずに学んでほしい。 ・音楽に力を入れているのがよい。	今年度も、学校教育目標にあるように、子どもたちが、知・徳・体のバランスの良い成長をしていけるよう、工夫して教育活動に取り組んできました。1年を振り返りますと、日常の教科学習において、また、さまざまな行事において、子どもたちの成長をたくさん感じることができ、たいへん嬉しく思っています。 教職員一同、学校が安全で安心な場所であることを土台として、子どもたちの将来のため、未来のために必要な力を、しっかりと育てていきたいと、強い思いを持って、日々、子どもたちと向き合っています。学校経営方針でも示していますが、確かな学力を育成するとともに、豊かな心を育みたいと思ってきました。児童一人一人が個人の力を伸ばし、さまざまな可能性を広げていけるよう、意欲的に学ぶ力を伸ばしていきたいです。また、人とのかわりの中で、支え合い、高め合っていていけるよう、やさしさや思いやりの心に根差した、コミュニケーション能力を育てていきたいと思っています。個々の力と、他者とかかわる力の育成を、本校の教育の大きなテーマとしてきました。一年の中で、そのテーマに向かって活動する子どもたちの姿に、たくさんの成長を感じることができました。 来年度に向けては、保護者アンケートに書かれていた身に付けてほしい資質能力(情報活用能力や判断能力、危機対応能力、困難に負けないたくましさ、日本を愛する気持ちなど)を受け止めながら、さらに充実した教育活動を進めていきたいと思っています。 そのために、効率的、効果的な時間の使い方を模索し、心身ともに健康な職員の働き方をめざしつつ、ともに学び合う中で、授業力や指導力の向上を図っていきたいです。教職員の努力と成長が、子どもたちの成長につながるということを共通理解し、学校運営を進めていきたいです。